

私達は、「地球環境の変化」を、どのように見たり、感じたりしたらよいのでしょうか？二酸化炭素による地球の温暖化・海洋酸性化、大気循環、生態系などの地球環境の変化と関連した言葉を目にすることも多いです。しかし、過去・現在の地球環境に影響をもたらしてきたもの、未来に影響をもたらすものについて、どのように研究がおこなわれ、どのように予測をするのかを知る機会は、あまりありません。

今回の講演会では、「海洋シミュレーション」の研究から見てきた地球環境の現在、過去、そして未来についてお話しします。さまざまな予測をするために、スーパーコンピューターを使って解析をしていく海洋シミュレーション。水温変化、植物プランクトンの変動、海中の栄養塩の濃度変化などの「海の小さな変化」と地球環境との関わりが、そこから見えてきます。海の物質循環、海の生態系、古気候・古海洋、地球温暖化予測など、地球環境の現在、過去、そして未来をさぐる旅に、ぜひ一緒に出かけましょう。

「サイエンスカフェ」とは、喫茶店などで気軽に科学の話をする参加型イベントです。イギリスで約10年前に始まりました。近年、日本でも喫茶店に限らず様々な場所で実施されており、北海道でも札幌や小樽、旭川などで行われています。

ゲスト

山中 康裕 (やまなか やすひろ) さん 北海道大学 大学院地球環境科学研究院 教授 | IFES-GCOE 拠点リーダー | 気象庁 気候問題懇談会検討部会メンバー

大学生の時のニックネームが galapen。鳥なのに海にもぐれるガラパゴスペンギンのこと。もともと大気科学を勉強していた学生のはずが、海洋科学にも興味をもって、空と海の両方を研究しようとしていた時期についてニックネーム。それ以来、海洋と大気をつなげた大気海洋の研究を、スーパーコンピューターを使って行っている。1964年東京生まれ。子どもの頃に“地球”(小学館)の図鑑を見て地球科学に興味を抱く。天気図を書くのが好きだった中学生。東京大学理学部で気象学と海洋科学を学ぶ。東京大学気候システム研究センターで海洋物質循環のモデリングに取り組み博士号を取得。1998年放送のNHKスペシャル「海 知られざる世界」の監修を担当。現在、海洋科学と地球温暖化問題の世界的研究者として、環境科学の問題を市民との双方向性で取り込むことにも力を入れている。息抜きは、お気に入りの「ドイツビール」を飲むこと。



聞き手

山浦 一晃 (やまうら かずあき) さん 稚内地方気象台 防災業務課 防災指導係長

1987年旭川地方気象台に採用。以後、道内各官署、気象庁本庁、国土交通省本省を経て、2010年春に稚内へ赴任。これまで主に防災と広報に関わる。前任地の旭川からテレビ・ラジオで季節の話題を通じた気象知識と防災知識・意識の啓発に取組み、現在も継続中。2009年からあさひかわサイエンスカフェに実行委員として参加。昨春から北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)で勉強中。現在、稚内に地元密着型のサイエンスカフェを根付かせるため、稚内北星学園大学を中心としたメンバーとともに、ただいま奮闘中。1967年旭川市生まれ。妻と3人の娘達と離れて単身赴任中。趣味は「狩り(釣り、山菜・キノコ採り)」で獲物を求めている時間がリフレッシュタイム。水夢館通いで知り合った仲間との触れ合いに感謝し、恵まれた自然環境の中での趣味を楽しみながら稚内生活を満喫中。



事前申し込みのご案内

参加ご希望の方は、以下の方法で事前にお申し込みください。受付は先着順です。開催日までに定員に達した場合、事前にお申し込みされていない方は、会場の都合により当日ご入場できない可能性があります。

1. ファクスでのお申し込み先 | FAX: 0162-24-5951 (稚内地方気象台 総務課)

以下のフォームに必要事項を記入し、お送りください		
申込者氏名 [複数の場合、代表者名]*	人数*	お電話番号*
	名	— —
お住まいの地区 [例: '稚内市大黒' 等]*	このイベントをどこで知りましたか？	
所属等		

*の項目は必須です。お知らせいただいた情報は、本イベントについてのご連絡と学術研究に使用し、責任をもって管理いたします。

2. お電話でのお申し込み・お問い合わせ先 | TEL: 0162-23-6016

稚内地方気象台 総務課
受付時間 平日 8:30~17:15